

8月うぶやま天文台星空情報 1



(c)スター・ウィーク実行委員会

スターウィーク

(星空に親しむ週間)



天空が広がるうぶやまの高原は、暑い夏の季節を迎えましたが、高原の涼しい風が吹いています。梅雨も明け、素晴らしい星空が見えています。

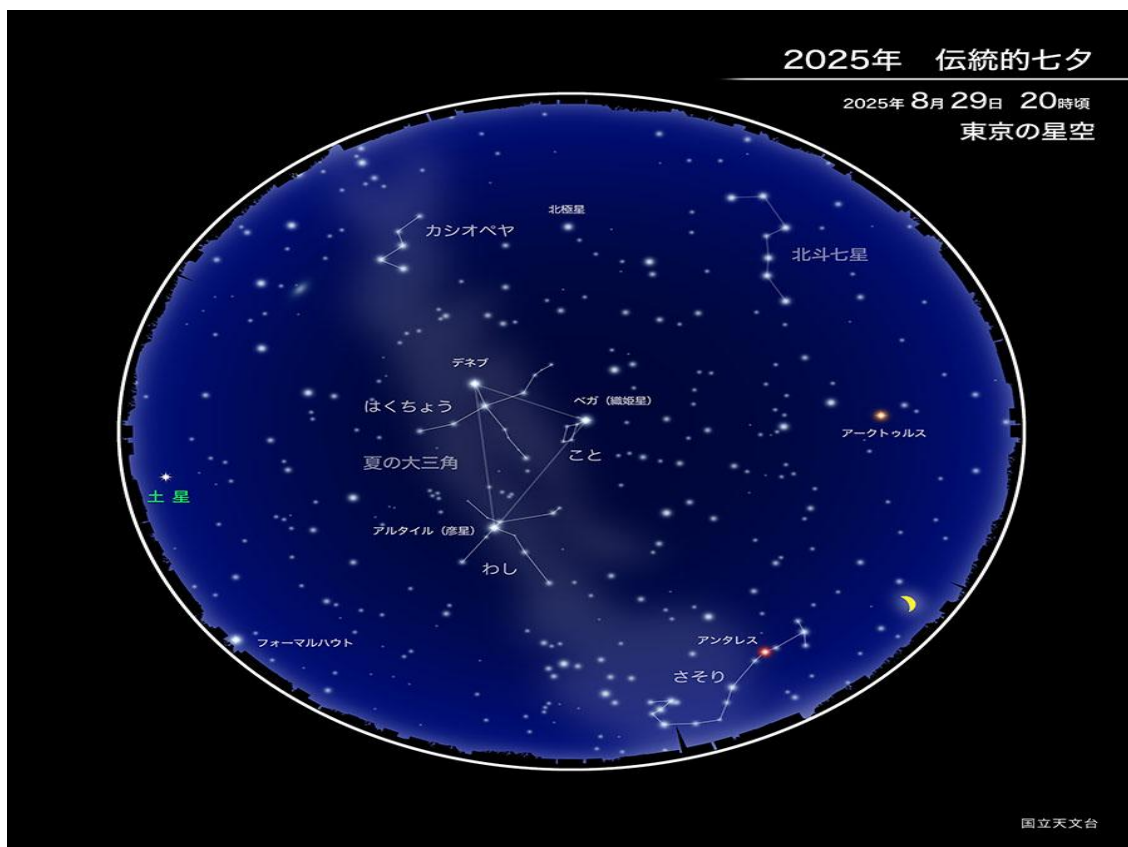
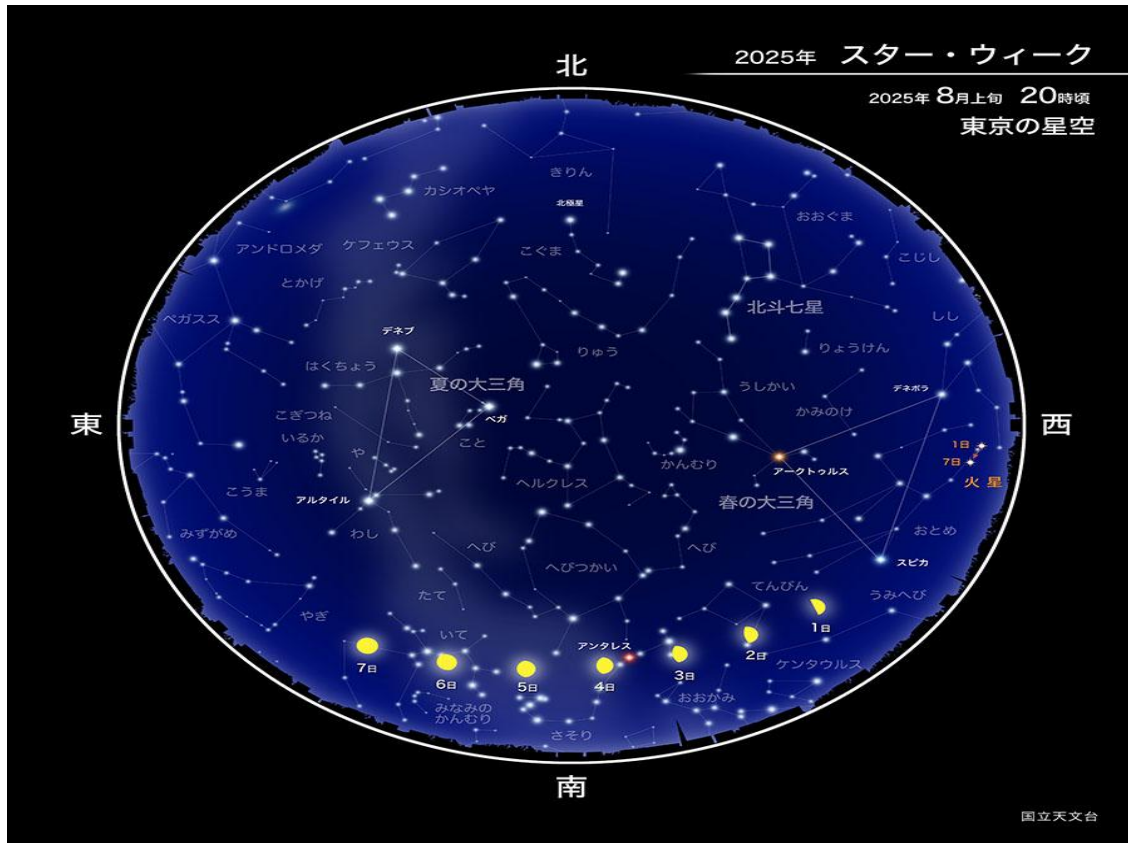
8月の星空情報の第1弾は、恒例となったスターウィークです。

今年のテーマは、「星空の めぐすり 一滴 あなたにも」です。スターウィークとは、梅雨明けの8月の第1週の1日～7日に国立天文台や、日本公開天文台協会（JAPOS）や、国立天文台が提唱している「星に親しむ週間」です。8月上旬になると全国的に梅雨明けで、天候が安定する頃で、星空を眺めるのにとっても適しています。この期間、全国のア天文台で「星空観察会」などの関連イベントが開催されています。

太陽太陰暦（いわゆる旧暦）の、7月7日にちなんだ、かつての七夕の頃は国立天文台等では、「伝統的な七夕」と呼ぶことにし、2001年から広く周知しており、今年は8月29日になります。この「伝統的七夕」の日は、夕暮れの頃には半月よりやや細い月が、南西から西南西にかけての空に見えています。夜空が十分に暗くなり星々が輝きだすと、頭の真上近くに、織姫星（おりひめ星：こと座の1等星ベガ）と、彦星（ひこ星：わし座の1等星アルタイル）を見つけることができます。

また、近くの「はくちょう座」の1等星デネブを結ぶと有名な「夏の大三角」を見つけてことができます。夜空の暗い所であれば、これらの3つの星座の中を流れる「天の川」も見ることができます。「うぶやま天文台」のあるファームビレッジ産山でも、晴れた日には素晴らしい天の川を楽しめます。





伝統的七夕(8月 29 日)の星空